



2023年6月21日

各位

会社名 株式会社ムロコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 室 雅文
(コード番号：7264 東証スタンダード市場)
問合せ先
役職・氏名 執行役員管理本部長 山口 誉
電話 028-667-7122

(訂正)「業績予想の修正及び子会社株式評価損(個別)の計上に関する

お知らせ」の一部訂正について

当社は、2023年5月11日に公表しました「業績予想の修正及び子会社株式評価損(個別)の計上に関するお知らせ」につきまして、一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

【訂正前】

2. 個別業績予想について

2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	17,001	1,685	1,156	円 銭 191.37
今回発表予想(B)	16,694	1,199	<u>167</u>	<u>27.69</u>
増減額(B-A)	△307	△486	<u>△988</u>	-
増減率	△1.8	△28.8	<u>△85.5</u>	-
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	16,332	2,083	1,477	244.54

【訂正後】

2. 個別業績予想について

2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	17,001	1,685	1,156	円 銭 191.37
今回発表予想(B)	16,694	1,199	<u>323</u>	<u>53.56</u>
増減額(B-A)	△307	△486	<u>△832</u>	-
増減率	△1.8	△28.8	<u>△72.0</u>	-
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	16,332	2,083	1,477	244.54

【訂正前】

3. 修正の理由 (個別業績)

通期の業績予想につきましては、2022年11月10日公表の数値に対して、売上高は材料価格等の売価反映はあったものの半導体不足に伴う減産が続き、前回予想を1.8%下回りました。経常利益につきましては、為替差益253百万円の計上がありましたが、原材料やエネルギーコスト等の上昇、減産に伴う効率悪化を受け、前回予想を28.8%下回りました。当期純利益につきましては、連結子会社の関係会社株式評価損660百万円を特別損失に計上したことにより、前回予想を85.5%下回りました。

【訂正後】

3. 修正の理由 (個別業績)

通期の業績予想につきましては、2022年11月10日公表の数値に対して、売上高は材料価格等の売価反映はあったものの半導体不足に伴う減産が続き、前回予想を1.8%下回りました。経常利益につきましては、為替差益253百万円の計上がありましたが、原材料やエネルギーコスト等の上昇、減産に伴う効率悪化を受け、前回予想を28.8%下回りました。当期純利益につきましては、連結子会社の関係会社株式評価損503百万円を特別損失に計上したことにより、前回予想を72.0%下回りました。

【訂正前】

4. 子会社株式評価損（個別）の計上について

当社の連結子会社であります陸諾汽車部件(湖北)有限公司につきましては、立上げ以来コロナ禍環境での事業を余儀なくされたことにより厳しい財政状況にあり、当社が保有する同社株式の実質価額が低下したため「金融商品に関する会計基準」に基づき、子会社株式の減損損失として関係会社株式評価損 660 百万円を特別損失に計上することといたしました。なお、関係会社株式評価損は、個別財務諸表において計上するものであり連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

【訂正後】

4. 子会社株式評価損（個別）の計上について

当社の連結子会社であります陸諾汽車部件(湖北)有限公司につきましては、立上げ以来コロナ禍環境での事業を余儀なくされたことにより厳しい財政状況にあり、当社が保有する同社株式の実質価額が低下したため「金融商品に関する会計基準」に基づき、子会社株式の減損損失として関係会社株式評価損 503 百万円を特別損失に計上することといたしました。なお、関係会社株式評価損は、個別財務諸表において計上するものであり連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

以 上